

令和2年度第1回狭山市健康づくり審議会会議録

開催日時 令和2年10月1日（木）午後1時30分から午後2時40分まで
開催場所 狭山市保健センターAB会議室
出席者 神庭会長、渡邊副会長、茂出木委員、田中委員、佐藤委員、山川委員、
中田委員、青柳委員、北田委員、橋本委員、内野委員、伴委員、
小池委員、池内委員、志村委員
欠席者 赤羽委員
事務局 西澤長寿健康部長、関口長寿健康部次長（長寿安心課長兼務）、
關根健康づくり支援課長、久保田主査、内藤主任 神谷主事
傍聴者 無
報道関係者 無

議 題 (1)「第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画」にお
ける「健康づくりのための支援（支援策）」の令和元年度実施状況に
ついて
(2)「第4次健康日本21狭山市計画・第3次狭山市食育推進計画」策定
スケジュール、アンケート（案）について
(3)その他

(1)「第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画」における「健
康づくりのための支援（支援策）」の令和元年度実施状況について、事務局
より説明

【質 疑】

委 員 資料の右側に「アンケートの実施」と明記されているが、アンケートの
対象者は事業の参加者か。

事務局 各関係部局が評価を行う旨で事業の参加者などにアンケートを行ったか
どうかを聞いている項目となります。対象は参加者です。

委 員 そのことを踏まえると、「実施していない」箇所がほとんどとなっている
ということは、取り組みのほとんどが参加した参加者の感想というか、
満足度などが図られていないということか。

事務局 そのとおりです。

委 員 なにか原因はあるのか。

事務局 公民館での事業が多く、毎回繰り返し実施しており、参加者も固定され

ていることからそれを意図して実施していないと思われます。今後はコロナ禍でもあることから、実施した後どのようなものを継続して実施していくのか等について、アンケート調査等をしていく形で各課に要請していきたいと考えております。

(2) 「第4次健康日本21狭山市計画・第3次狭山市食育推進計画」策定スケジュール、アンケート（案）について、事務局より説明

【質 疑・意 見】

委 員 アンケートの内容について、特にこの辺を特徴づけるものはあるのか。前回実施したアンケートを確認したところ、ほとんどが同じ項目であった。調査対象を分けたのは理解できたが、特に狭山市としての特徴を掴むことを意図した質問項目があればいいと思う。

事務局 基本的には現在の計画を策定した際に実施した調査内容を踏襲し、時代や社会の状況を踏まえ、いくつか修正を加えたものとなっております。これは、次期計画を策定するにあたり、現在の計画と比較検討するために、大きく変更しない方が良いとの意見があったことから、前回の内容を踏襲する形としましたが、狭山市独自のという項目につきましては、ご意見を頂きたいと思っております。

委 員 狭山市独自のという項目については即答できないが、全ての質問項目についてコロナ以前とコロナ後の比較はできると思うが、例えば、医療機関の受診を控えたとか、ソーシャルディスタンスを取る、3密を避けるといった新型コロナウイルス感染症に特化した項目があってもいいと思う。

委 員 休養と心の健康の分野についても、以前とはだいぶ変化しているのではないだろうか。

事務局 休養と心の健康については、平成31年3月に狭山市自殺対策計画を策定し、その中で市としても自殺の傾向も把握しております。この計画は策定後1年半ほどしか経過していないことから、今後は内容を精査したうえで、21計画との整合性を図っていきたいと考えております。また、この自殺対策計画も5年間の計画となっておりますが、次期の計画を策定する際に、自殺に特化したアンケートを取ることができるのか不安なところもあり、今回のアンケートに少しでも内容が盛り込めればと考えております。

事務局 コロナ禍に特化した項目についてですが、庁内で案を作る段階において

も項目として設定すべきとの意見がありましたが、非常にタイムリーな話題で、例えば市民意識調査を実施した段階と、計画を策定した段階、そしてその計画を5年間続けた段階で、それぞれにその場に則したものが出来るのか、現時点においてはかなり偏った意見が出てしまうのではという懸念があり、あえてここでは項目を設定しなかったという経緯があります。ただ、やはりアンケートを取る段階においては、当然のことながらコロナには関心があることですので、1つか2つ聞く項目が加えられるのであれば検討していきたいと考えております。

委員 確かに、この中に入れてしまうと5年間継続するという事になってしまうが、コロナに関してはこの先どうなるかまだ見えてこない中では、課題であることは間違いないので、このアンケートとは別に付録というか別添えという方法もあるかと思う。

委員 狭山市に特化したものがないかということも課題であると思うし、新型コロナウイルスにより心身の健康を害している方も多い中では、そのような質問項目を加えた方がいいのではないかと思う。

委員 質問項目を増やす方向で話が進んでいるが、過去の調査の回収率はどのくらいなのか？既にかなり分量が多く、仮に自分のところに来たら答えないかもしれない。回答を取る方法にも関係すると思うが、紙ベースでこれだけの分量があると、相当回収率が低いと予測されるが、もし低いのであれば項目を絞り込むほうがよいのでは。

事務局 前回の調査では、18歳以上の調査は標本数が3,000に対して回収数が1,460、有効回答数が1,458であり、回収率が48.6%となっております。

委員 郵送調査で4割、かなり高いと感じる。

会長 おそらく計画を立てるために市民の現状を聞いて、この結果に基づいて計画を改訂していくという指標となる調査だと思うが、今年取ると今年度の影響が大きい数値が出るのが予測されるので、その解釈をしていく時の参考にするためには、追加の質問も有効ではないかと思う。

事務局 今頂いたご意見を基に、アンケートの内容を修正していきたくは思いますが、最終的に庁内で修正がされたものについて、委員の皆様にご確認していただく機会を設ける方法と、委員の皆様にご郵送でお送りして確認していただく方法とどちらがよろしいでしょうか。

会長 いつまでに回答が必要なのか。スケジュールを説明してほしい。

事務局 アンケート表の発送の目安を、11月中を目途に進めていきたくはと考えております。そのことから、アンケート表の内容を固めるのが1カ月位

というところであり、その間にまた改めて会議を開いた方がよいのかを確認させていただきたいと思います。

会 長 もう一度会議を開き確認した方がよいか、もしくは修正したアンケート案を郵送で送っていただき、何か意見があれば事務局に直接意見を述べるといふ形がよいか、委員の皆様の意見を伺いたい。

委 員 （郵送でとの意見あり。）

会 長 それでは、事務局で案を作成していただき、委員への郵送により確認、意見聴取をとる方法でお願いしたい。

委 員 この書面の形だと、現在のコロナ禍を踏まえると回収率が低くなると想定される。例えば手段としてデータで送れるとか、オンライン化が図れるとか手法の見直しは検討しているのか。自分自身もこの表を回答するのは負担であると感じるし、地域の人と話しているなかで、疑心暗鬼になっている方が多くなっていると感じており、個人情報を開示するとか、アンケートにとっても慎重になっている、もしくは紙のものを直接手渡して来ることを嫌がられる傾向にあるので、もしかしたら成人の方はアンケートを返していただけないかと思う。また、紙での回答であれば、選択肢だけでは把握できない自由記述といった、回答する気になれるような項目もあればいいと思う。

事務局 システムで出来るかということに関しては、今のところ整備されていないのが現状であり、紙の回答により実施していくしかないと思っております。

委 員 若い方も対象になっているので、SNSでの回答が行えるようにしていかないと、今後見放される傾向が強くなると思う。

事務局 確かに、若い人の回答を得るためには、SNSによる回答は有効な方法であると考えられますので、今後の課題とさせていただきます。

(3)その他について、事務局より説明

他に質疑はなく議事はすべて終了となる。